

製品名: ZNF592 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20273**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	160kDa

抗原情報

遺伝子名	ZNF592
別名	ZNF592; KIAA0211; Zinc finger protein 592
遺伝子 ID	9640.0
SwissProt ID	Q92610
免疫原	抗血清はヒト ZNF592 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 961-1010

背景

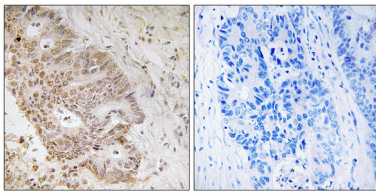
ジンクフィンガータンパク質 592 (ZNF592) ホモサピエンス この遺伝子は、複雑な発達経路および小脳発達に関与する遺伝子の制御に関与すると考えられています。この遺伝子の変異は、常染色体劣性脊髄小脳失調症と関連付けられています。[RefSeq 提供、2011

年1月],機能: 転写制御に関与している可能性があります。],PTM: DNA 損傷時にリン酸化され、おそらく ATM または ATR によるものと考えられます。],類似性: クルッペル C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。],類似性: 13 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。],

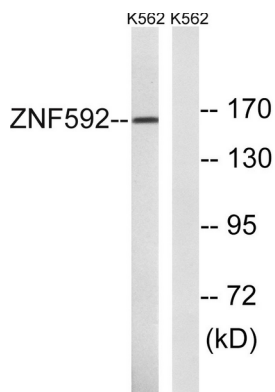
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; ジンクフィンガー; 転写因子

画像データ



ZNF592 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



K562 細胞ライセートの ZNF592 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。